

混成大会・記録会(東部会場)

大会規則および選手注意事項

本大会は2022(公益財団法人)日本陸上競技連盟規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

1. 本競技場は、朝8時50分まで使用可能である。その後は、補助競技場を使用すること。
2. 招集所は、100m スタート地点(雨天走路)に設ける。
3. 招集時間は次のとおりである

(四種競技)

招集開始時刻 競技開始30分前から

招集完了時刻 トラック競技は15分前 フィールド競技は20分前。

ただし、最初の種目のみ競技者係に点呼を受けるが、以後の種目については招集完了時刻の5分前までに現地に集合する。

(その他の種目)

選手は当該種目の招集時刻がきたら、招集所に用意された出場選手一覧表に、第1回目のチェック(自分のナンバーを○で囲む)を招集終了5分前までに行う。その際、スパイク、アスリートビブス、およびバッグ等の商標の確認を受ける。第1回目のチェックを終えた選手は、招集完了時刻3分前までに現地に移動し、トラック競技は出発係、フィールド競技は種目主任による最終点呼を受ける。代理人による最終点呼は認めない。

1500mについては、招集所で腰ナンバーを受け取り、ゴール後所定の場所に返却すること。

4. 競技場は全天候舗装であるので、スパイクピンは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。靴底の厚さはTR5により、800m未満のトラック種目は、最大20mm、800m以上のトラック種目は、最大25mmとする。選手はWA承認済み競技用靴リスト記載の競技用靴を着用すること。規定違反の疑義がある場合、審判長の権限のもと、競技終了後を含めいつでもチェックや回収をすることがあり、対象者は指示に従わなければならない。
5. 競技用具の持ち込みは、競技前に必ず検定を受けなければならない。
6. アスリートビブスは必ずユニフォームの胸背部に確実に取り付けること。跳躍種目については胸背部のどちらか一方でよい。ただし、走幅跳については必ず前面に取り付けること。
7. ユニフォームの上着の端は、ランニングパンツ等の内側に必ず入れること。
8. セパレートレーンで行われる競技では、決勝戦通過後は自分のレーン(曲走路)を走り、他走者の邪魔をしないこと。
9. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順に上から下とする。
10. 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

A 走高跳

男子(練習1m25)30-35-40-45-50-55-58 以後3cmずつ上げる。

女子(練習1m05)10-15-20-25-30-33 以後3cmずつ上げる。

◎ 特殊条件によって変更するバーの上げ方は審判長が決める。

- 1.1. ハードルの高さは女子・四種女子(76.2cm、8m)、男子(91.0cm、9.14m)とする。また砲丸投の重さは、女子・四種女子は2.721kg、男子は5.0kg、男子四種は4.0kgとする。
- 1.2. 四種競技で全国標準記録を突破した選手は、本部席小田川純子委員長(出雲市立第一中学校)まで行き、全国大会出場のための必要書類を受け取り、期日までに提出すること。
- 1.3. 発病、負傷に対しては応急処置のみ行う。